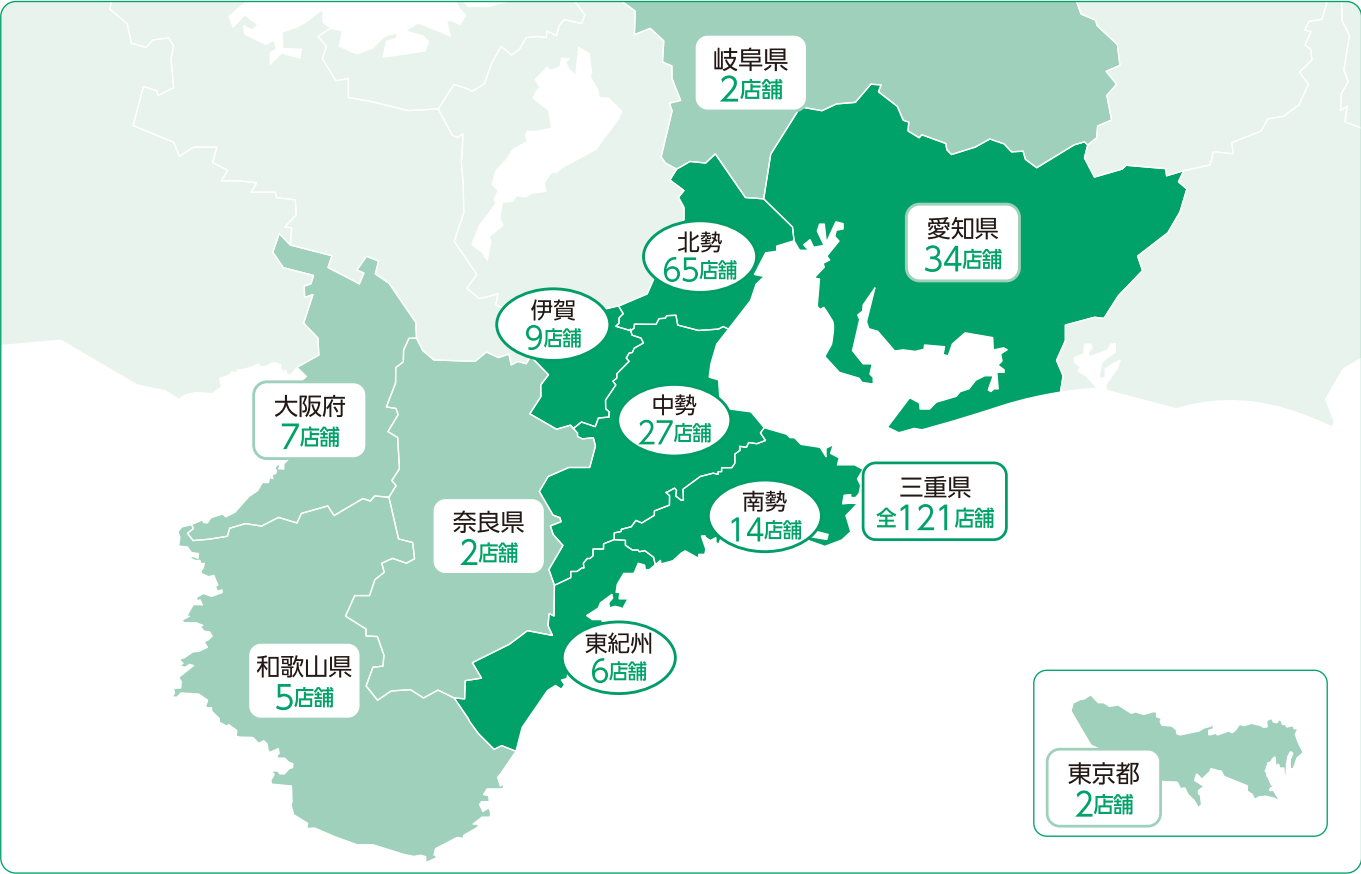


店舗ネットワーク



※店舗数は2018年4月2日現在（ローンプラザは除く）



本店所在地（登記上の住所）／三重県松阪市京町510番地
本社所在地（本社機能）／三重県四日市市西新地7番8号
<https://www.33fg.co.jp/>

このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
再生紙と植物油インキを使用しています。

2018年6月発行

2018.3

営業のご報告
ミニディスクロージャー誌



ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

株式会社三重銀行と株式会社第三銀行は、この度共同持株会社である株式会社三十三フィナンシャルグループを設立し、経営統合いたしました。新会社設立に際しまして、皆さま方的一方ならぬご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

銀行を取り巻く経営環境が大きく変化する中、経営統合による強固な経営基盤の確立こそが、お客さま、地域の発展・成長に向けて持続的に貢献できる最善の道筋と考えております。

当グループは、営業基盤の拡充、金融仲介機能の強化、経営の効率化・最適化といった3つの相乗効果を発揮することで、地域の活性化に貢献し、地域のお客さまから愛され信頼される金融グループを目指してまいります。また、地域社会、地域経済、そして新金融グループがともに成長する好循環を創出し、活力あふれる未来の創造に貢献してまいります。

今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月吉日

株式会社 三十三フィナンシャルグループ
代表取締役会長 岩間 弘
代表取締役社長 渡辺 三憲



代表取締役会長
岩間 弘

代表取締役社長
渡辺 三憲

社名

(英文名称)

社名に込めた思い

三十三フィナンシャルグループ San ju San Financial Group

「三十三」(さんじゅうさん)は、三重銀行と第三銀行のそれぞれの強みをプラス(+)することで、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献したいという思いを込めています。

経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、
地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

ロゴマーク



ロゴマークに込めた思い

「33」をモチーフにした2羽の鳥のシンボルマーク。

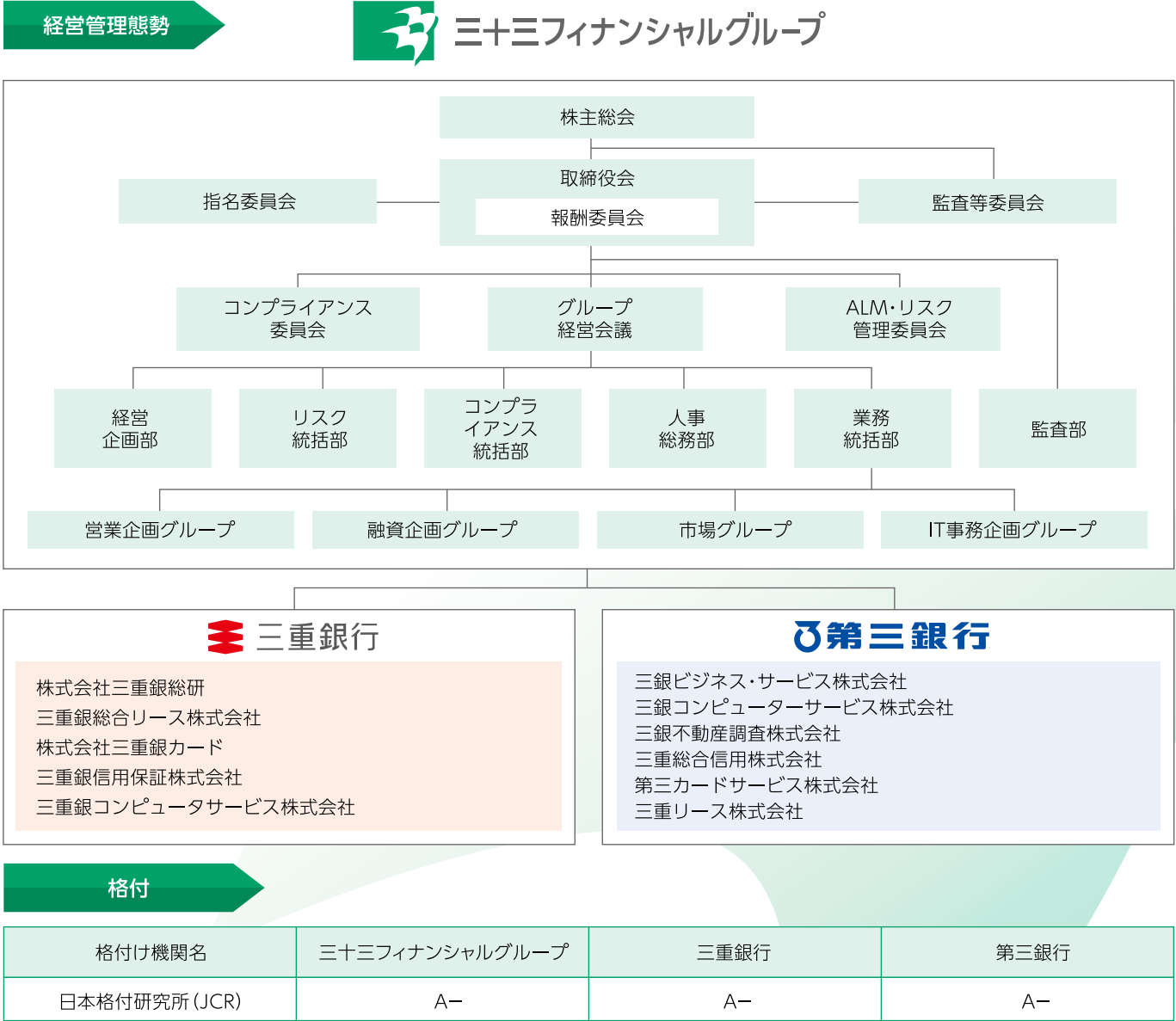
この2羽の鳥は三重銀行と第三銀行を表すとともに、地域のみなさまと三十三フィナンシャルグループを表現するものです。ともに大空へ羽ばたく姿は、地域と三十三フィナンシャルグループの成長と活力あふれる未来を描いています。

三十三フィナンシャルグループの概要

本店所在地(登記上の住所)	三重県松阪市京町510番地	資本金	100億円
本社所在地(本社機能)	三重県四日市市西新地7番8号	上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

役員		
(2018年4月2日現在)		
役職名	名前	子銀行の兼職
代表取締役会長	岩 間 弘	第三銀行 取締役頭取兼執行役員
代表取締役社長	渡 辺 三 憲	三重銀行 取締役頭取
取締役	谷 川 憲 三	第三銀行 取締役会長
取締役	種 橋 潤 治	三重銀行 取締役会長
取締役兼執行役員	井 口 篤	第三銀行 常務取締役兼執行役員
取締役兼執行役員	山 本 隆 司	三重銀行 取締役兼専務執行役員
取締役兼執行役員	藤 田 隆 弘	第三銀行 常務取締役兼執行役員
取締役兼執行役員	堀 内 浩 樹	三重銀行 常務執行役員総合企画部長
取締役〔監査等委員〕	坂 本 康 隆	
取締役〔監査等委員〕〔社外取締役〕	藤 原 信 義	
取締役〔監査等委員〕〔社外取締役〕	野 呂 昭 彦	
取締役〔監査等委員〕〔社外取締役〕	古 川 典 明	
執行役員	片 岡 新 二	三重銀行 取締役兼専務執行役員
執行役員	達 中 敏 治	第三銀行 執行役員人事総務部長
執行役員	東 海 悟	三重銀行 常務執行役員
執行役員	川 瀬 和 也	第三銀行 取締役兼執行役員総合企画部長

(注) 取締役のうち藤原 信義、野呂 昭彦、古川 典明の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。



三 重 銀 行

創業年月日 1895年11月15日
本店所在地 三重県四日市市西新地7番8号
総資産 1兆9,726億円
預金等残高 1兆7,669億円(譲渡性預金を含む)
貸出金残高 1兆3,695億円
従業員 1,288名 (2018年3月末現在)



株式会社三重銀行
取締役頭取
渡辺 三憲

■役員		(2018年4月2日現在)	
取締役会長 [代表取締役]	種 橋 潤 治	常務執行役員	松 本 環
取締役頭取 [代表取締役]	渡 辺 三 憲	常務執行役員	坂 本 直 樹
取締役兼専務執行役員	山 本 隆 司	常務執行役員	堀 部 勝 寛
取締役兼専務執行役員	一 色 孝 三	常務執行役員	増 田 晃 男
取締役兼専務執行役員	片 岡 新 二	常務執行役員	松 岡 太 朗
取締役兼常務執行役員	廣 瀬 壽 美	執行役員	桐 井 毅
取締役	宅 野 一 郎	執行役員	鈴 木 秀 幸
取締役 [監査等委員] [常 勤]	砂 田 毅 彦	執行役員	町 野 昌 年
取締役 [監査等委員] [社外取締役]	松 井 憲 一	執行役員	小 河 寿 徳
取締役 [監査等委員] [社外取締役]	伊 藤 雄 二	執行役員	森 啓 旗
取締役 [監査等委員] [社外取締役]	用 弘 美	執行役員	若 杉 哲 也
取締役 [監査等委員] [社外取締役]	吉 田 す み 江	執行役員	浅 井 成 夫
常務執行役員	東 海 悟	執行役員	佐 藤 篤 司
常務執行役員	内 海 誠 志	執行役員	野 呂 明 弘
常務執行役員	加 藤 芳 毅	執行役員	安 田 琢 朗
常務執行役員	小 林 克 志	執行役員	加 藤 忍
常務執行役員	堀 内 浩 樹	執行役員	中 森 啓 太
常務執行役員	松 川 賢 二	執行役員	林 章 夫

(注) 1. 取締役のうち松井憲一、伊藤雄二、用弘美、吉田すみ江の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 取締役吉田すみ江氏の戸籍上の氏名は、今尾すみ江であります。

第 三 銀 行

創業年月日 1912年10月20日
本店所在地 三重県松阪市京町510番地
総資産 2兆286億円
預金等残高 1兆8,150億円(譲渡性預金を含む)
貸出金残高 1兆2,765億円
従業員 1,392名 (2018年3月末現在)



株式会社第三銀行
取締役頭取兼執行役員
岩間 弘

■役員		(2018年4月2日現在)	
取締役会長 [代表取締役]	谷 川 憲 三	執行役員	里 村 恭
取締役頭取兼執行役員 [代表取締役]	岩 間 弘	執行役員	浦 川 智 可
常務取締役兼執行役員	井 口 篤	執行役員	柴 田 尚 郎
常務取締役兼執行役員	藤 田 隆 弘	執行役員	達 中 敏 治
常務取締役兼執行役員	浅 野 章	執行役員	大 畑 隆
取締役兼執行役員	北 村 晶	執行役員	京 戸 裕 司
取締役兼執行役員	山 川 憲 一	執行役員	梅 田 尚 稔
取締役兼執行役員	川 瀬 和 也	執行役員	青 木 利 公
取締役 [監査等委員] [常勤] [社外取締役]	濱 岡 正 己	執行役員	吉 田 真 也
取締役 [監査等委員]	中 村 和 弘	(注) 1. 取締役のうち濱岡正己、中川昇の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。	
取締役 [監査等委員] [社外取締役]	中 川 昇		

三重銀行

1895
(明治28年11月)

四日市銀行設立



蔵町本店 (明治43年)

1939
(昭和14年12月)

三重銀行に行名改称



三重銀行としての開業日当日

1983
(昭和58年7月)

四日市市十七軒町に事務センターを竣工



事務センター

1986
(昭和61年11月)

名古屋証券取引所第二部に上場

1988
(昭和63年9月)

名古屋証券取引所第一部に上場指定替え

1995
(平成7年11月)

創業100周年



創業100周年の集い

1996
(平成8年12月)

東京証券取引所第一部に上場

1998
(平成10年5月)

新本店竣工

2015
(平成27年11月)

創業120周年



周年ロゴマーク

©1987, 2018 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G590423

第三銀行

1912
(大正元年10月)

南牟婁郡木本町 (現.熊野市) に熊野共融合资会社設立

1927
(昭和2年7月)

三重無尽株式会社に組織変更 (本社.木本町)



三重無尽株式会社本社

1951
(昭和26年10月)

相互銀行法の施行に伴い、株式会社第三相互銀行に商号変更

1967
(昭和42年10月)

松阪市に本店ビルを竣工し、熊野市から本店移転



本店ビル

1973
(昭和48年8月)

大阪、名古屋両証券取引所、第一部に上場指定替え (平成15年6月に大阪証券取引所上場廃止)

1975
(昭和50年11月)

松阪市中央町に事務センターを竣工



事務センター

1989
(平成元年2月)

普銀転換に伴い、株式会社第三銀行に商号変更



商号変更セレモニー

1989
(平成元年11月)

東京証券取引所第一部に上場

2012
(平成24年10月)

創立100周年



周年ロゴマーク

2018年4月 三重銀行・第三銀行 経営統合
共同持株会社「三十三フィナンシャルグループ」を設立

ともに、羽ばたく。



第1次中期経営計画

ビジョン

質の高い地域ナンバー1金融グループ

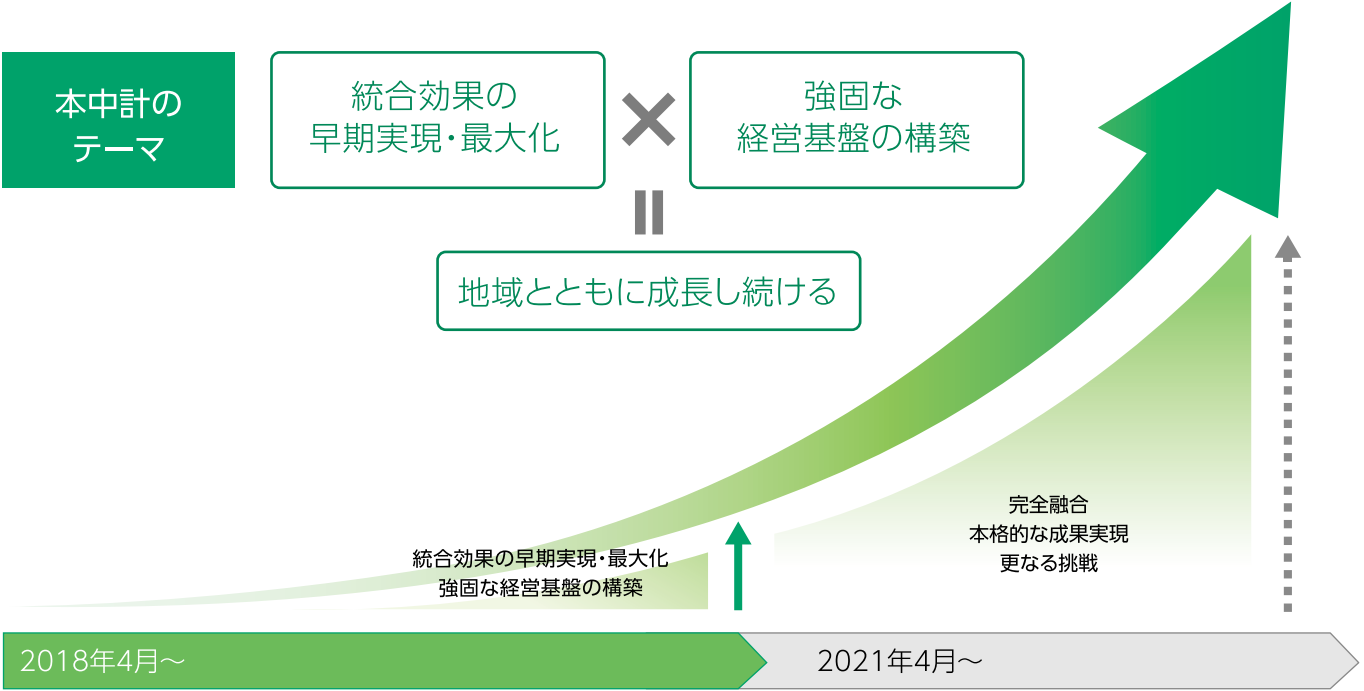
地域のお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの経営課題やニーズに対して、多様なソリューションを提供することで地域に貢献する信頼度ナンバー1の金融グループを目指します。

第1次中期経営計画 (2018年4月～2021年3月)

次期中期経営計画 (2021年4月～2024年3月)

統合効果を早期実現・最大限発揮しつつ、強固な経営基盤を構築することで、質の高い地域金融グループを目指す期間

両行の強みを完全に融合させ、本格的な成果を実現し、更なる成長へ挑戦する期間



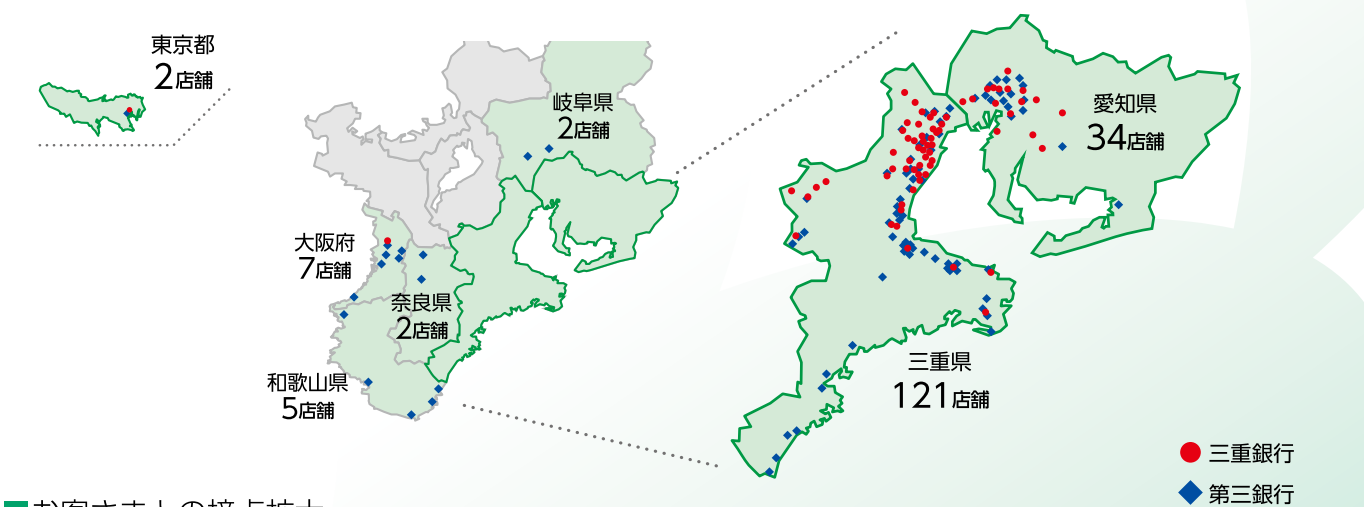
基本戦略～リレーションの構築～

店舗の利便性向上

三重県北部を中心とするきめ細やかな店舗網と、三重県中南部を中心とし広域に跨る店舗網を融合することで、より身近で便利にご利用いただけます。

※店舗数は2018年4月2日現在（ローンプラザは除く）

店舗数	三重	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	愛知	市内	名古屋	名古屋	大阪	和歌山	奈良	岐阜	東京	合計
三重銀行	57	43	6	3	5	-	16	8	8	1	-	-	-	-	1	75
第三銀行	64	22	21	11	4	6	18	16	2	6	5	2	2	2	1	98
合計	121	65	27	14	9	6	34	24	10	7	5	2	2	2	2	173



お客さまとの接点拡大

法人のお客さま：理解の深化、応対力の強化

個人のお客さま：チャネルの利便性向上

□お客さまの理解の深掘り

□対面チャネルの利便性向上

□応対力の強化

□非対面チャネルの拡充

・両行共通のリレーションシート(事業性評価シート)の導入・改善を通じた、お客さまに対する理解の深化

・休日営業チャネルの相互活用による機能強化
・ローンプラザ・ほけんの窓口との連携による相談機会の拡大

・多様化するニーズにお応えする各種専門チームの創設による、お客さまへの応対力の強化

・FinTech等の新たな技術を活用した、スマホ決済やモバイルバンキング等の取組み強化
・ATMの相互開放によるATMネットワークの拡充

基本戦略～ソリューションの提供～

法人のお客さま

ソリューション力の強化に向けた取組み

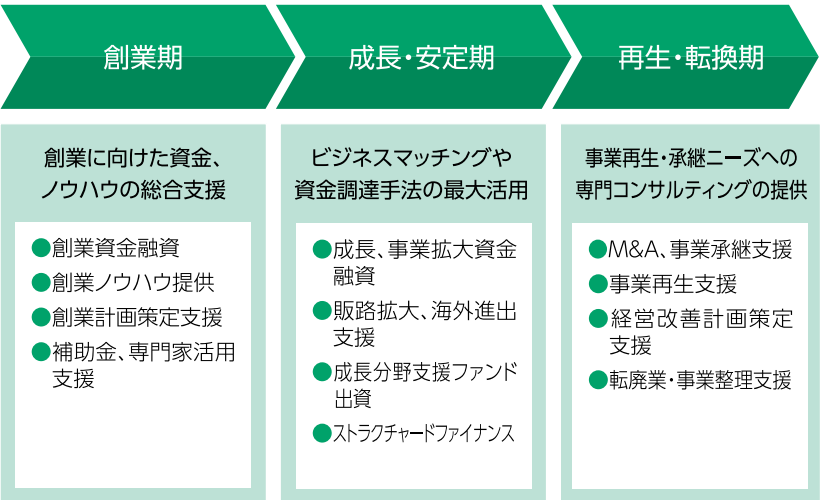
□ ノウハウを相互活用した
対応力の強化

両行間の連携強化により、ノウハウを相互に最大限活用できる体制を整備

□ 本部フロント支援部門の
機能強化

専門知識を有する人材の増員、育成により、ライフステージに応じた課題解決型提案力を強化

ライフステージに合わせた多様な商品・サービスラインアップ



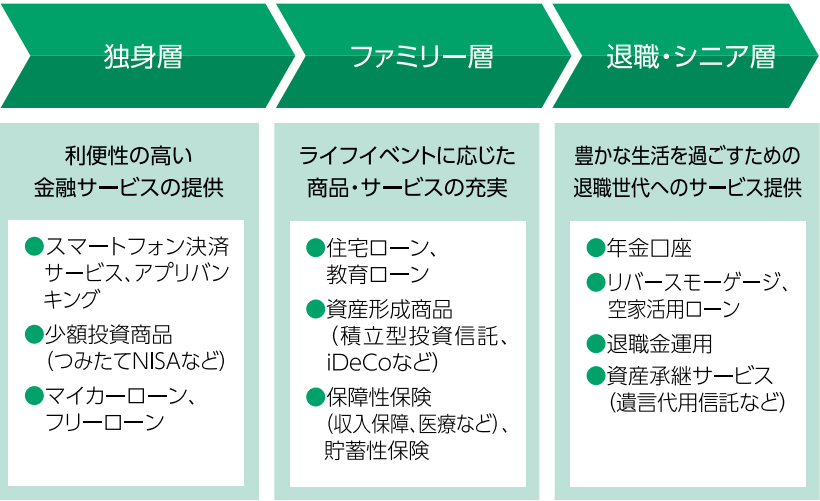
個人のお客さま

□ ライフイベントに応じた
コンサルティング力の強化

高いコンサルティング力を有する人材の育成により、就職や結婚、退職などのライフイベントに応じた提案力を強化

□ 多様なチャネルを通じた商品・
サービスの提供

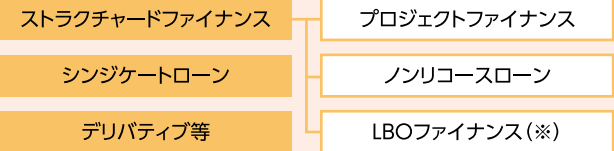
両行の休日営業店舗やスマホアプリ、インターネットバンキングなどの多様なチャネルを通じた利便性の高い金融サービスの提供



両行におけるソリューション提供事例

法人ソリューション営業部によるサポート

営業推進部内に「法人ソリューション営業部」を設置しています。専門性の高いソリューション案件に特化することで、多様化するお客さまの資金調達手段のサポートをさらに強力に推進しています。



※LBOとはレバレッジド・バイアウトの略称で企業買収手法の一種

事業保険の取扱開始

会社経営に伴う課題を生命保険を活用して解決するため、2017年10月より事業保険（法人向け生命保険）の取扱いを開始しました。

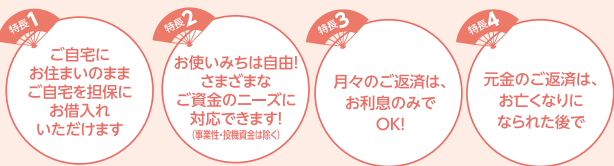
▼ 事業保険で支援する企業ニーズ例



リバースモーゲージ『天晴人生』（あっぱれじんせい）
の取扱開始

持ち家を担保に、充実したセカンドライフを送るための資金をお借入れいただくローン商品「リバースモーゲージ」の取扱いを開始しました。ご自宅のリフォーム資金や生活費、住宅ローンの一括返済など、さまざまな用途でお使いいただける商品となっています。
※本商品の取扱いは三重県の金融機関で初めてとなります。

4つの特長



コベナント型融資やABLなどの取組み

お客さまの多様化するニーズに的確に対応するとともに、担保・保証に必要以上に依存しない融資の促進を図るため、柔軟な融資スキームであるコベナント活用型融資や在庫・売掛債権等の流動資産を担保とするABLなど、様々な取組みをしています。



▲ ABL木材 ▲ ABL松阪牛 ▲ ABL養殖魚

企業経営者向け情報Webサイトの開設

企業経営者が必要とする事業承継やM&A、経営改善、法人保険、収益不動産などの企業経営に関する情報を提供するため、企業経営者向けの独自の情報Webサイト「企業オーナーonline」を地域金融機関として初めて開設しました。



▲ <https://kigyo-owner.com/>

「地域力向上を実現する中小企業応援プログラム」
に基づいた取組み

中小企業基盤整備機構中部本部と連携し、取引先の料理旅館（志摩市）に対して地域力向上を実現するために専門家を長期にわたり派遣し、経営課題の解決を図るサポートを行いました。



地方創生、地域活性化への積極的参画

▶ 観光での地域振興～ガストロノミーツーリズムに関する五者連携協定締結～

2017年11月三重銀行、第三銀行、三重銀総研、ANA総合研究所及び一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構は、ガストロノミーツーリズムを活用した地域活性化に共同で取り組むため、連携協定を締結しました。ガストロノミーツーリズムは、地域に根ざした食や地域の自然・歴史等の魅力に触れることそのものを目的とした旅であり、2018年には連携事業の第1弾として同年に開湯1,300年を迎える湯の山温泉を核にウォーキングイベントの開催を計画しています。



▲五者連携協定締結



▲一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構のHPより

≡ 地方創生の取組みで大臣より表彰

2018年2月 地元有力ごまメーカーである九鬼産業様(四日市市)などと連携し、ごまの生産量を鹿児島県に次ぐ全国2位の規模に成長させたことが、「地方創生の特徴的な取組み」として内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰されました。



▲大臣からの表彰状



▲ごまの収穫風景



▲収穫されたごま

≡ NPOの支援

▶ 寄付による応援

2004年度以降、地元NPOに寄付を行い、活動を応援しています。2017年度は、次世代育成支援を主な活動分野とする10団体に対し総額100万円を寄付しました。これまでの寄付実績は168団体、1,420万円となります。

▶ NPO交流会

寄付をさせていただいたNPO団体の中から毎年数団体をお招きし、三重銀行経営陣と「NPO交流会」を開催しています。2017年度は3つの団体と相互の理解を深めました。



▲活動内容のプレゼン

▶ NPO向けのご融資

2005年よりNPO法人の「つなぎ資金」ニーズに対応する「NPOローン」などを取扱っており、累計融資実行額は26件/98百万円となりました。(2018年4月末現在)

ひ「松阪新電力株式会社」の共同出資

松阪市による「松阪新電力株式会社」設立に伴い、第三銀行が共同出資を行いました。同社は電力小売りの完全自由化に伴い、地域で生み出された再生可能電力エネルギーを地域で消費する「エネルギーの地産地消」を目的として設立されました。



▲共同設立記者会見



ひ CSR私募債「地域とともに」の取組み

2017年1月から、さんぎんCSR私募債「地域とともに」の取扱いを開始しました。本件活動は私募債を発行される企業から第三銀行が受取る手数料の一部をもとに、発行企業が指定する地域の学校や医療・福祉施設等への必要な品物を寄贈する取組みとなります。



▲寄贈者/有限会社社勘商事様



▲寄贈者/株式会社やまざんホームズ様



▲寄贈者/有限会社タクト住宅様

社会貢献活動への取り組み

≡ 植樹活動

▶「みえぎん まなびの森」での植樹

「環境保全」、「次世代育成支援」を目的に三重県菰野町内の三重銀行保有地において、認定NPO法人「森林(もり)の風」と協働で「みえぎん まなびの森」づくりを行っています。2017年7月、三重銀行職員及び職員家族等28名で「植樹会及び工作教室」を行いました。



▶御在所岳山上での植樹

2017年9月、御在所岳山上で植樹活動を三重銀行職員及び職員家族等31名で行いました。



≡ 「夏休み!銀行ワフドキ体験隊」の開催

クイズやゲームを通じてお金の役割や銀行の仕組みについて学んでいたことを目的に、2007年より毎年、小学校高学年の児童と保護者の方を対象に開催しています。2017年度は、28組65名の親子が参加されました。



▲クイズなどによる勉強



▲お札の数え方の練習



▲本物の1億円の重さを体感



▲頭取へ質問

≡ スポーツ振興による次世代育成

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的として、2017年5月に「三重銀行杯 第5回三重県小学生ティーパーン選手権大会」、2017年7月には「第3回みえぎんカップ 三重銀行杯少年サッカー大会」を開催しました。



▲三重銀行杯 第5回三重県小学校ティーパーン選手権大会



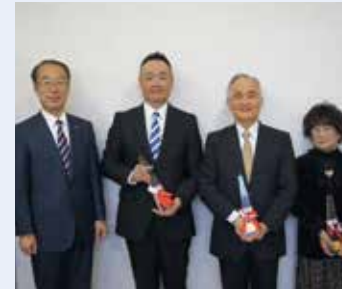
▲第3回みえぎんカップ 三重銀行杯少年サッカー大会



ひ 三銀ふるさと文化財団

公益財団法人三銀ふるさと文化財団(理事長 岩間 弘)は、社会貢献事業の一環として地域文化の発展と向上に貢献された個人及び団体を表彰する顕彰事業を行っています。1990年の設立以来、個人の方55名、団体の方26団体に「三銀ふるさと三重文化賞」を授与しており、表彰式終了後には、定期コンサート「庄野真代&麻倉未稀」を開催しました。

■美術部門(美術工芸)/松山 好成様 ■文学部門(短詩型・俳句)/喜多 さかえ様
■音楽・演劇部門(演劇)/多気町劇団白つばき様



▲三銀ふるさと文化財団受賞者



▲三銀ふるさと文化財団コンサート

ひ お金に関する特別授業

次世代を担う子供たちにお金の役割や大切さを学んでもらうために、地域の小学生を対象に「お金に関する特別授業」を実施しています。



▲亀山小学校での特別授業



▲1億円の重さを体感



▲クイズを交えた授業

ひ 地域のスポーツ振興

少年サッカー、ミニバスケットボールなどスポーツイベントの開催・協賛等により、地域の青少年育成に向けた取り組みも積極的に行っています。



▲第三銀行杯 三重県少年サッカー選手権大会



▲第三銀行杯 三重県ミニバスケットボール選抜大会



共同株式移転に伴う当社株式の割当について

2018年3月31日の最終の三重銀行及び第三銀行の株主名簿に記載または記録された株主の皆さまに対し、2018年4月2日に株式移転比率に応じて当社株式を割当交付いたしました。

株式移転及び株式移転比率について

株式移転とは、1つまたは2つ以上の株式会社が、その発行済株式の全部を、新たに設立する株式会社に取得させることをいいます。

三重銀行の普通株式1株に対して三十三フィナンシャルグループの普通株式1株を、第三銀行の普通株式1株に対して三十三フィナンシャルグループの普通株式0.7株を割当交付いたしました。

三十三フィナンシャルグループのホームページ開設

持株会社設立に伴いホームページを開設いたしました。財務・IR情報、株式関係情報、ニュースリリースなどホームページからご覧いただけます。

三十三フィナンシャルグループ

検索

▼スマートフォンでの画面イメージ



大株主の状況

普通株式 (2018年4月2日現在)		
株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,713	6.54
銀泉株式会社	1,062	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	805	3.07
株式会社三井住友銀行	776	2.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	583	2.22
第三銀行職員持株会	550	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	458	1.75
三重銀行従業員持株会	448	1.71
株式会社みずほ銀行	445	1.70
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	349	1.33

第一種優先株式 (2018年4月2日現在)		
株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	4,200	100.00

株式のご案内

- 決 算 日 …… 毎年3月31日
- 定 時 株 主 総 会 …… 毎年4月1日から3ヵ月以内に開催いたします。
(当社は最初の決算日が2019年3月31日のため、第1回定時株主総会は2019年6月に開催を予定しています。)
- 定時株主総会の基準日 …… 毎年3月31日
- 公 告 の 方 法 …… 電子公告により行います。
【公告掲載URL】 <https://www.33fg.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
- 上 場 証 券 取 引 所 …… 東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部 (普通株式)
- 証 券 コ ー ド …… 7322
- 1 単 元 の 株 式 の 数 …… 100株 (証券市場での売買単位)
- 株 主 名 簿 管 理 人 …… 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
(特別口座管理機関) 日本証券代行株式会社
- 同 事 務 取 扱 場 所 …… 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

郵便物送付先
及び
電話お問い合わせ先

〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
…………… 日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
受付時間(平日9:00~17:00)

単元未満株式の買取(ご売却)・買増(ご購入)請求、住所変更等の各種手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主さま	お取引のある証券会社等にお問い合わせください。
証券会社等に口座をお持ちでない株主さま	上記の日本証券代行株式会社にお問い合わせいただくか、日本証券代行株式会社ホームページ(https://www.jsa-hp.co.jp/)上の「株式に関するお手続き」をご参照ください。

未受領の三重銀行・第三銀行の配当金等に関する手続きについて

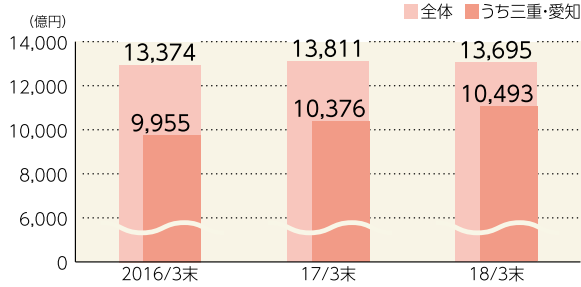
当社の株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。
(未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店及び三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。)



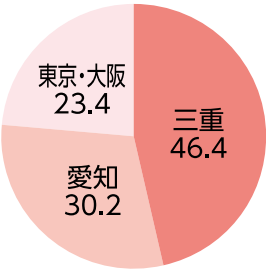
貸出金残高

1兆3,695億円

貸出金は、前年比116億円(0.8%)減少しました。
地元三重・愛知では、事業性貸金を中心に前年比117億円(1.1%)増加しました。

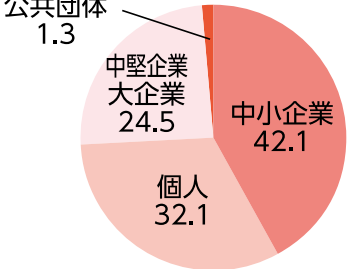


地域別(%)



(2018年3月末)

貸出先別(%)

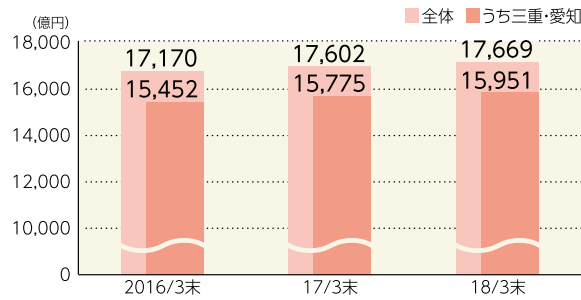


(2018年3月末)

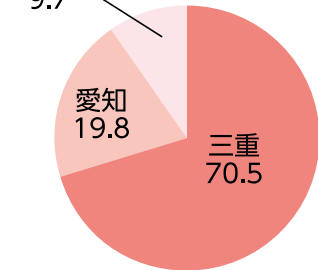
預金・譲渡性預金残高

1兆7,669億円

預金・譲渡性預金は、地元三重・愛知の預金を中心に増加し、前年比67億円(0.3%)増加しました。
地元三重・愛知では、前年比175億円(1.1%)増加しました。

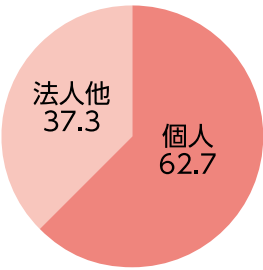


地域別(%)



(2018年3月末)

預金者別(%)

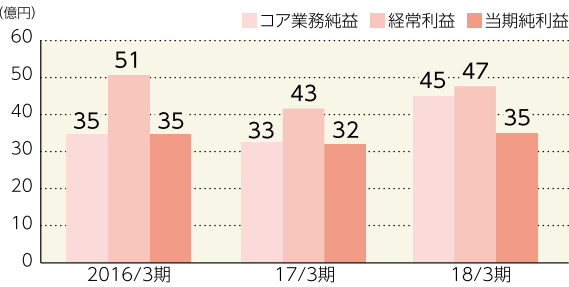


(2018年3月末)

利益

コア業務純益 45億円
経常利益 47億円
当期純利益 35億円

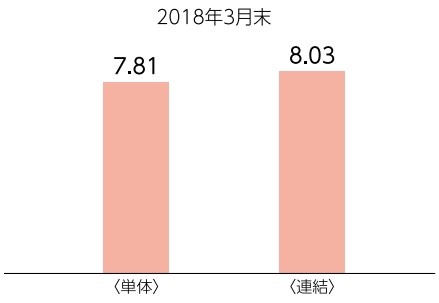
法人向けのソリューション手数料の増加、預金等支払利息の減少などから、コア業務純益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前期比増益となりました。



自己資本比率(国内基準)

7.81%(単体) 8.03%(連結)

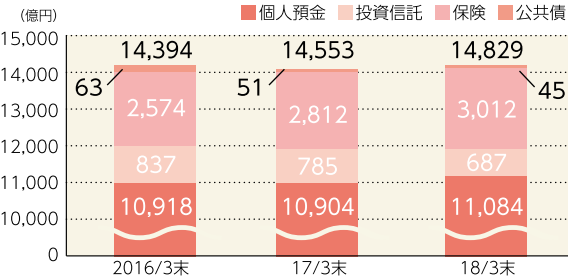
自己資本比率は、単体で7.81%、連結で8.03%となり、求められる水準を大きく上回っています。



個人預かり資産残高

1兆4,829億円

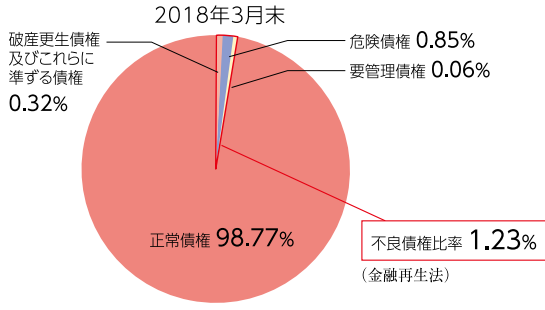
個人預かり資産は、保険や個人預金を中心に残高を伸ばし、前年比276億円(1.8%)増加しました。



不良債権比率

1.23%

金融再生法に基づく開示債権は172億円、総与信に対する比率は1.23%と資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。

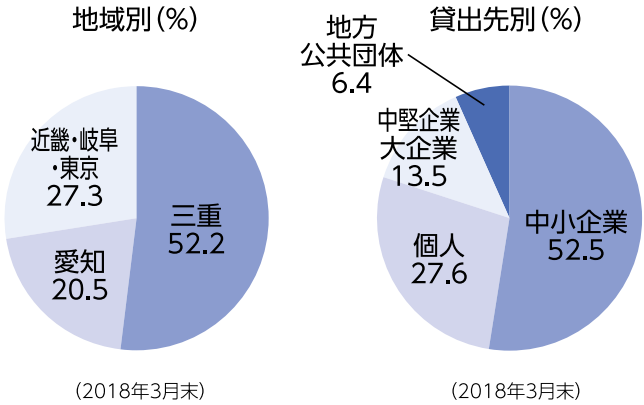
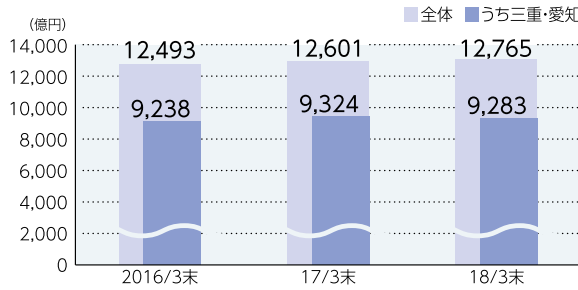


第三銀行

貸出金残高

1兆2,765億円

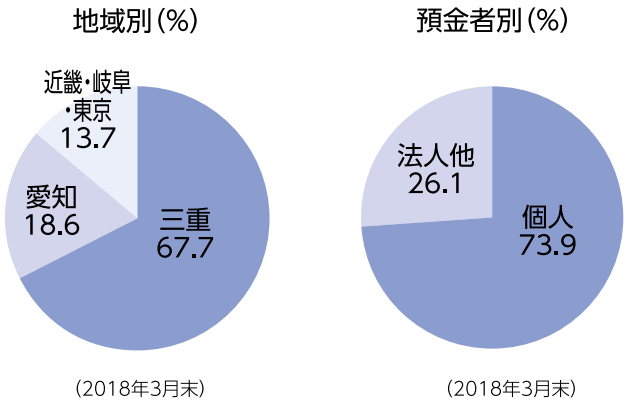
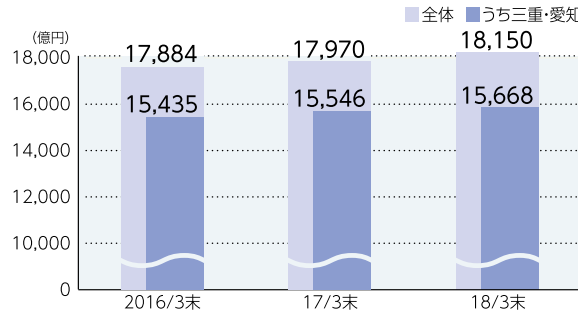
貸出金は、中小企業向けを中心に増加し、前年比164億円(1.3%)増加しました。



預金・譲渡性預金残高

1兆8,150億円

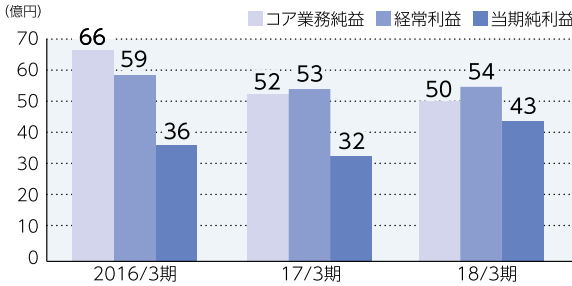
預金・譲渡性預金は、法人預金を中心に増加し、前年比180億円(1.0%)増加しました。



利益

コア業務純益 50億円 経常利益 54億円 当期純利益 43億円

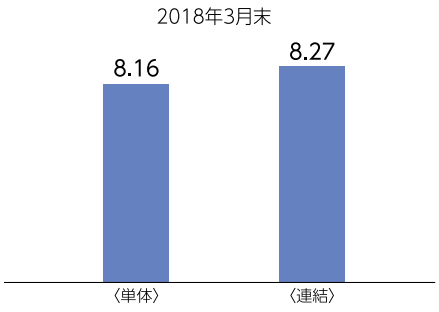
コア業務純益は、役務取引等利益が減少したことなどにより、前期比2億円減少し50億円となりました。
経常利益は、前期比1億円増加し54億円、当期純利益は同11億円増加し43億円となりました。



自己資本比率(国内基準)

8.16% (単体) 8.27% (連結)

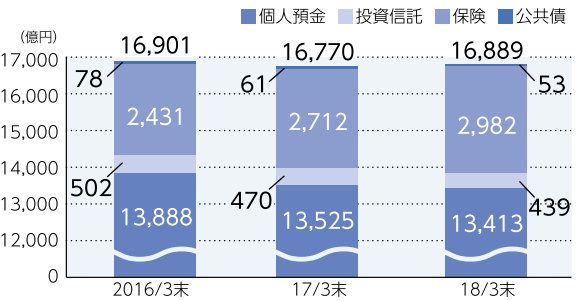
自己資本比率は、単体で8.16%、連結で8.27%となりました。



個人預かり資産残高

1兆6,889億円

個人預かり資産残高は、保険を中心に残高を伸ばし、前年比119億円(0.7%)増加しました。



不良債権比率

2.25%

金融再生法に基づく開示債権は291億円、総与信に対する比率は2.25%と資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。

